

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月15日作成)

| | | |
|------------------------------|--|--------------------------------|
| 小委員会名 | 地域空間情報デザイン小委員会 | 主 査 名：中澤公伯 就任年月：2019年4月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 情報システム技術委員会 | 委員長名：渡辺 俊 |
| 設 置 期 間 | 2019年4月 ～ 2021年3月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>G空間社会の到来に備えて、建築や都市を対象とした物理的な事象や、空間情報を入力値として出力される人の印象や行動を空間情報として扱い、BIM・機械学習・コンピューショナルデザインといった要素技術を GIS 上で展開しながら、広く社会に展開できる計画手法の提案を思考する。</p> <p>初年度：・①GIS義務教育化対応、②地域空間情報の活用求められるIoTのあり方検討に精通するゲスト招いた勉強会の開催 ・建築学会大会 OS の実施</p> <p>2年度：・ゲスト招いた勉強会の開催 ・建築学会大会 OS を実施 ・小委員会主催・共催のシンポジウムを開催 ・②地域空間情報の活用求められる IoT のあり方検討に関する書籍刊行の検討</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | |
| | 主査：中澤公伯 (日本大学) 幹事：山田悟史 (立命館大学) 委員：大内宏友 (日本大学), 大串 豊 (M&K コンサルタンツ), 大場 亨 (市川市), 北垣亮馬 (北海道大学), 小林祐司 (大分大学), 阪田知彦 (建築研究所), 関口達也 (金沢大学), 瀧澤重志 (大阪市立大学), 西原是良 (早稲田大学), 藤井健史 (立命館大学) | |
| 設置 WG (WG名：目的) | 地域空間向け IoT 事例調査 WG： 国内外の広域空間で用いられる IoT の開発状況調査・文献調査 | |
| 2020年度予算 | 200,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：— |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 3回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | シンポジウム「G 空間社会の形成と地域空間のデザイン (II) : スマートシティ構想の動向と人材育成」 参加者数 27 名 『同名資料』【PDF】 |
| 大会研究集会 | 2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 80% 1. 大会 OS (G 空間社会形成の展開) 企画を公開委員会内で実施し、G 空間社会形成の展開についての発表と議論を実施した。 2. シンポジウム「G 空間社会の形成と地域空間のデザイン (II) : スマートシティ構想の動向と人材育成」を実施し、スマートシティ構想の基礎知識の講義と、人材育成について議論した。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 委員会成果をより広く広報したい。 |

